

様式第2（第9条関係）

政 務 活 動 賞 成 果 報 告 書

令和6年 7月1日

犬 山 市 議 会

議 長 柴 田 浩 行 様

議員名 鈴木 伸太郎

下記のとおり、展示会の成果を報告いたします。

(1) 年 月 日	令和6年 6月 27日(木) ～ 6月 28日 (金)
(2) 場 所	①東京ビッグサイト ②天王洲アイル ③横浜市中区
(3) 形 態	会派 () : その他 (鈴木のみ)
(4)内 容	① 自治体公共WEEK / ② 天王洲キャナルシティ / ③ 神奈川県地方自治研究センター 報告書別紙
(5)成果・提言	報告書別紙



出張報告（令和6年6月27日～6月28日）

内容

① 自治体公共WEEK（於東京ビッグサイト）

自治体業務改善、新しいサービス提案型の展示会、ビッグサイト西1階で開催。

AI、地方創生、防災他、交通等、自治体が抱える課題を解決する各企業等の製品が集まる。今回は27日午前中、元自治省職員、津市、堺市、三重県等に出向経験もある、現三井住友不動産調査役の松藤氏に同行を願い一緒に周った。

この展示会、コロナ禍をはさんだここ数年は、大手ベンダーが巨大ブースで自治体業務をAIでトータルサポートするような展開が目立ったが、今回の特徴として、もちろん大企業も出展してはいるが、小さな企業がそれぞれの強みをアピールするブースが増えた気がする。

- ・展示ブースのメインはやはりデジタルシフト、それに必要なDX人材育成、業務改善、セキュリティなどが多かった。

- ・地方創生関連では、観光とビッグデータの親和性を生かすサービスが多かったが、少し時代遅れ感を感じた。外国人インバウンドに対応した新たなサービス提案がなかった。

- ・元日の能登半島地震の影響か、防災に多くの来場者が集まっていたが、犬山はかなり整備されている印象。

- ・健康・子育て支援は新たなサービス（アプリ）が乱立気味、まとめアプリが必要。

- ・町内会をどうするか、アプリを利用した活性化サービスがいくつかあり、全国的な課題だと再認識した。

- ・ファシリティマネジメントの観点から、施設整備の必要性を訴えてきたが、道路メンテ、建物管理で新たなサービスを発見。一方、上下水道では革新的サービスは見当たらず。

- ・講演を2件受講、

「地域におけるDX人材育英」、特に小規模な自治体の情報システム担当者の負担が大きく、全国的に課題とのこと。

「ライドシェアで描く地域の未来」、小松市、東大阪市両市の市長によるディスカッション。それぞれ新たな取り組みをスタートさせており、犬山も12月から自治体ライドシェアを始めることもあり、参考になった。

② 天王洲キャナルシティ見学

品川区天王洲アイルは、平成時代に造成された人口島。りんかい線の駅があり、都営住宅、大手スーパー、企業、倉庫などが並ぶ。

昨年、滋賀県大津市の「全国市町村国際文化研修所」で、【地域活性化とイベント】とい

うタイトルの研修を受講した中で、天王洲キャナルサイド活性化協会の方の話を伺い、天王洲キャナルシティとそこで活動する天王洲キャナルサイド活性化協会には興味を持っていた。

同協会は、天王洲アイルという新しい島全体での地域活性化策に取り組み、地域住民、当地で働くサラリーマン、観光客すべてのステークホルダーに満足してもらえるイベントを展開、倉庫の壁面や街中にアート感覚ある作品を展示するなどの活性化に取り組んでいる。

訪問時は平日の明るい時間帯であったため、夜の雰囲気は体感できなかったが、運河上に係留された船上では、間もなく迎える宵の時間帯に備え、飲食店の準備が進み、アクティブな息遣いを感じた。物販、芸術等のコンテンツも島全体に華やかに展開され、地域の魅力向上、ブランド力アップに貢献している事が感じ取られた。

③ 神奈川県地方自治研究センター

神奈川県中心に、地方自治、公共交通、人口動態、防災等、幅広く研究し情報発信する団体を訪問、情報収集を行った。

特に公共交通については、MaaS、ライドシェア等の論文から多くの情報をいただいた。今年度犬山市議会総務委員会でも自治体ライドシェアが研究テーマであり、今回得た知見は生かせる。

④ その他

ちょうど都知事選の期間中、巷間話題になっているポスター掲示板、メディアに出るような事例を探したが見つからなかった。前述の松藤氏によると、新宿など繁華街の一部でそのような事例があるとのこと。しかし、繁華街でも渋谷では見られないそうで、都市の性格の違いが反映されているとのこと。私が議員になった当初から、犬山市のポスター掲示板減と、選挙公報等のネット活用を提案してきたが、今回の都知事選挙の影響で、全国的にポスター掲示の在り方の議論が活発になることを期待する。

二日目夕刻の東京駅、タクシー乗り場は100メートル以上の長蛇の列。半分以上は外国人か？ 東京のタクシー不足、ドライバー不足を垣間見た。

成果・提言

① 自治体公共 WEEK (個人的に興味ある情報を列記)

- ・ 自動車搭載センサーのビッグデータから通学路安全対策実施 (朝来市)
- ・ マイナ投票、将来の電子投票制、その前に住民投票的利活用で/を実施していくことで、若者の投票率が上がるのでは？ (東京都)
- ・ 土地所有者調査管理システム、相続に関する土地、相続人調査業務のサポート。
- ・ 消防署の勤怠管理システム。

- ・病児保育サポート、給食アレルギー情報アプリ（芦屋市）
 - ・子育て支援現金給付の代替として、子育て支援物品のカタログサービス。
 - ・上下水道料金システムの見える化、利用料金照会、水量照会、開閉栓受付、料金支払い、スマートメーター連動。
 - ・ストリートプリント。既存のアスファルト舗装を石畳やレンガ調に加工、コストダウン可。（郡山・松江・唐津他）
 - ・防災とスポーツ・ゲームのマッチング。（東京都・常総市・石巻市）
 - ・窓口透過性モニターへの字幕表示、外国人、障がい者等弱者対応。（豊橋市）
 - ・シェアサイクル、イオン他数社が提案。公共交通としての視点でとらえる時代か？
 - ・学校施設の外壁剥落防止策。犬山南小学校で発生した事案の対策として有効？
 - ・図書館活性化、とんち協。図書館と地域を結び、図書館をまちづくりや地域活性化に生かす手法。（小松市）
 - ・リカレント教育サービス。自治体職員のリスキリング、DX人材育成。（大阪市他）
 - ・総合学科高校と地域教育。探求学習、キャリアサポート支援。
 - ・自治体広報、誤り修正、やさしい日本語化。（豊田市・春日井市等）
 - ・駅前自転車対策。放置自転車管理、有料自転車置き場運営。（柏市・東京都各区）
 - ・焼却灰資源化事業。埋め立てている残材を再資源化、ゼロエミッション化。
 - ・自治会運営支援ソフト各種。デジタル自治体の進化型。広報物発行、回覧、自治会運営等を一括管理。
 - ・地域通貨の活用。地域の関係人口創出、地域づくりサポート。
 - ・出張所窓口端末。出張所で各課の手続きをワンストップでできるシステム。
 - ・自治体向け Chatgpt。マニュアル自動化、議会答弁作成、要点抽出等。（淡路市）
 - ・公共施設コンサル業務。デザインビルド方式による時間短縮、省エネ診断、カーボンニュートラル対策。
- その他、予算確保が大前提ではあるが、犬山市でも導入すれば効果が期待できる提案が多数。一挙には無理だが、少しずつ浸透させていきたい。

② 天王洲キャナルシティ

犬山市でも、木曽川河畔活性化が動き出している。私自身は楽田在住で、木曽川河畔とは距離があるが、キャナルシティで感じたことは、まずは地域住民やそこで働く人が楽しみ、誇り持つことが大切だということ。天王洲も他所から観光目当てで多くの人々が来るが、それは副次的な事象であること。犬山市の賑わいづくりまちづくり政策、城下町周辺においては以前から観光客誘客対策を基本としているようで、それが地域住民にとって幸福なことであつたか疑問に思っている。どこかの機会天王洲の事例を引き合いに出し、観光、活性化、それは誰のために実施しているのか、正しい道を示していきたい。

③ 神奈川県地方自治研究センターノ

犬山市で公共交通機関といえば、鉄道、バス、タクシー、コミュニティバスくらいだと思っていたが、大都市ではシェアサイクルが公共交通機関といえるほど利用が活発になっている。自治体ライドシェアや楽田の買い物支援は公共交通といえるのか？、公共交通とは何かを根本から考えるきっかけとなった。

自治体ライドシェアは、運転手不足によるバス減便の一時的な対策であるという位置づけを明らかにし、本来あるべき姿を提案していきたい。

ただし、自治体ライドシェアの可能性も同時に研究し、例えば、四季の丘⇄犬山駅、西楽田団地⇄楽田駅、池野地区⇄羽黒駅等、市内各所で何ができるのかを研究し提案していく。

以上